

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

2

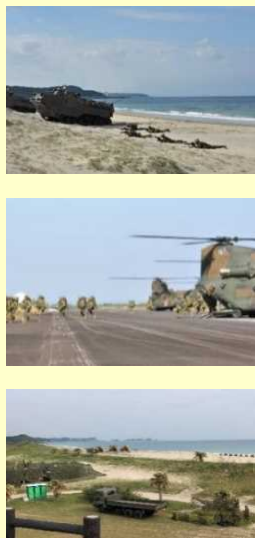
➤ 空挺作戦



➤ 統合防空ミサイル防衛訓練



➤ 水陸両用作戦



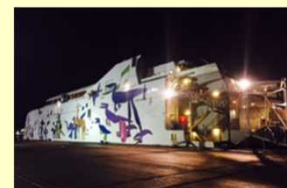
➤ 統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 長崎県における訓練について

本演習において長崎県内で実施する訓練は、

① 陸上作戦(協同基地警備訓練)

佐世保米海軍基地、佐世保基地、大村航空基地、福江島分屯基地、上対馬警備所、下対馬警備所、海栗島分屯基地

② 水陸両用作戦(洋上搭載訓練、空中機動訓練)

前浜海岸、相浦駐屯地、上五島空港、福江空港

③ 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦戦闘訓練、基地防空部隊等の機動展開訓練)

福江分屯基地、海栗島分屯基地、福江島(福江島分屯基地、高崎鼻、長崎鼻灯台、旧飛行場)

④ 統合後方運用(機動(輸送)訓練、物資輸送訓練)

福江空港

⑤ 統合電磁波作戦訓練

相浦駐屯地、烏帽子岳

⑥ 統合通信訓練

漁火公園、岳の辻園地、五家原岳、虚空蔵山、烏帽子岳

相浦駐屯地、対馬駐屯地、福江島分屯基地、権現山、旧火葬場、虚空蔵山、高慰斗岳

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(協同基地警備訓練)

陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が米軍基地及び自衛隊基地に展開し、各部隊による基地警備訓練、防護施設の構築訓練、小型無人航空機の飛行訓練を実施します。なお、実弾は使用せず、小型無人航空機は人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】 令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練、空砲使用を含みます。

【参加部隊】 陸上自衛隊(第4師団 第16普通科連隊、第40普通科連隊)
海上自衛隊(佐世保地方隊、対馬防備隊、第22航空群)
航空自衛隊(第15警戒隊、第19警戒隊)

訓練予定場所

【凡例】

- : 訓練場所(自衛隊のみ)
- : 訓練場所(米軍基地)



人数等

基地	展開する部隊
佐世保海軍基地 (メインベース)(針尾弾薬庫) (前畑弾薬庫)(赤崎・庵崎・ 横瀬貯油所)	第16普通科連隊等 約50名
佐世保基地 (平瀬地区) (崎辺地区)	第16普通科連隊等 約50名
大村航空基地	第16普通科連隊等 約50名
福江島分屯基地	対馬警備隊等 約50名
上対馬警備所 下対馬警備所	第40普通科連隊等 約50名
海栗島分屯基地	第40普通科連隊等 約50名

訓練イメージ



警備訓練



防護施設構築訓練



小型無人航空機の飛行訓練

長崎県内で実施を検討している訓練内容

②水陸両用作戦(空中機動訓練)

陸上自衛隊オスプレイが相浦駐屯地から上五島空港又は福江空港に水陸機動団の隊員を輸送する訓練を実施します。長崎県では、相浦駐屯地、上五島空港又は福江空港での離着陸を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊:水陸機動団、第1ヘリ団(V-22×4機)※機数は増減する可能性があります。

【参加人員】陸上自衛隊:水陸機動団約100名

※昼間及び夜間訓練を実施します。



訓練イメージ



陸自 : V-22 (オスプレイ)

長崎県内で実施を検討している訓練内容

⑤統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、九州西方で実施される統合対艦戦闘訓練に連携して行われます。
本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が、陸上自衛隊相浦駐屯地に展開し、電波状況の確認等を実施します。

なお、本訓練では実際に電波を発射する予定ですが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等
に影響しない周波数を使用します。

【期 間】

令和7年10月21日(火)～10月29日(水)

【参加部隊】

陸上自衛隊陸上総隊:約15名(車両(NEWSを含む。))×3両)

陸上自衛隊相浦駐屯地:約15名(車両(NEWSを含む。))×3両 (平素から所在)

訓練予定場所



展開する主要装備品



※ NEWS:Network Electric warfare System(ネットワーク電子戦システム)
電波の収集等を実施

長崎県内で実施を検討している訓練内容

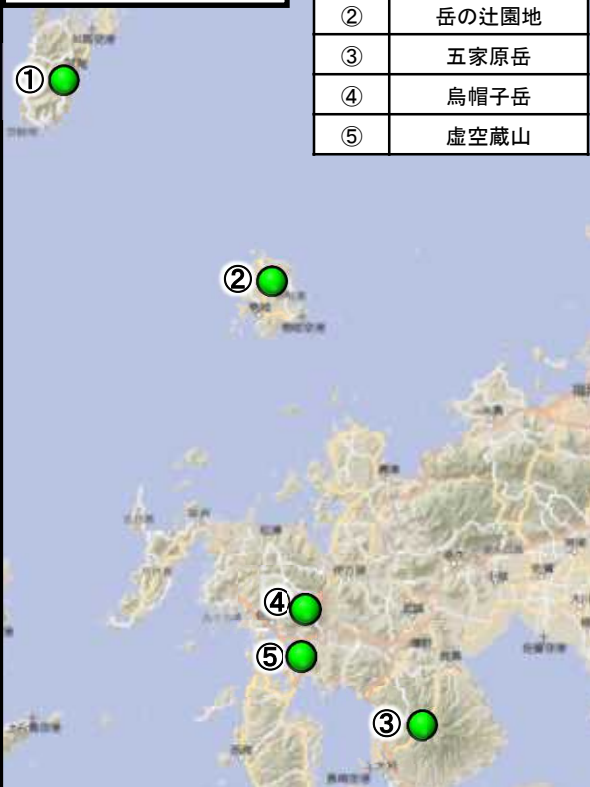
⑥統合通信訓練

陸上自衛隊の通信部隊が展開し、各部隊による通信訓練(無線・中継)を実施します。通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】自衛隊:陸上自衛隊(第4師団 第4通信大隊) 車両10両 人員25名

訓練予定場所



①	漁火公園
②	岳の辻園地
③	五家原岳
④	烏帽子岳
⑤	虚空蔵山

人数等

展開場所	展開する部隊
漁火公園	第4通信大隊 約5名
岳の辻園地	第4通信大隊 約5名
五家原岳	第4通信大隊 約5名
烏帽子岳	第4通信大隊 約5名
虚空蔵山	第4通信大隊 約5名

訓練イメージ



通信装置(中継装置)等の
展開及び無線の送信

長崎県内で実施を検討している訓練内容

⑥統合通信訓練

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が対馬、壱岐、五島列島、福江島等に展開し、通信回線を構成いたします。

通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月29日(水) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約40名(車両:20両程度)

【実施場所】相浦駐屯地、対馬駐屯地、福江島分屯基地、旧火葬場又は権現山、岳の辻園地、虚空蔵山、高熨斗岳

訓練イメージ



【重搬送装置】

